

東洋学園

東洋学園の校友をつなぐ

だより

平成26年

Vol.3

CONTENTS

- 原田新学長からのメッセージ 1
- 就学キャンパス再編 2
- 国際的活動 3
- 東学ニュース/社会で輝く卒業生 4-5
- 大学院/入試関連のお知らせ 6
- 教育振興資金のお願い/
東洋学園の歴史 7
- インフォメーション 8

原田新学長からのメッセージ

「校友のつながりを深め 良き伝統を受け継ぐ学校に」

一ノ渡尚道先生の任期満了に伴い、2014年4月より東洋学園大学の学長に就任した原田規梭子先生。前身である東洋女子短期大学の学長や、本学の副学長を経て現職に就いた原田新学長に、これからの東洋学園大学の展望を聞きました。



東洋学園大学学長
原田規梭子

明治大学大学院文学研究科修士課程修了。東洋女子短期大学学長、本学の副学長を経て、2014年より現職。日本英文学会、現代演劇研究会所属。専門分野は英米の演劇。

東洋学園の伝統と今後の展望

本学は、旧制東洋女子歯科医学専門学校、旧制東洋高等学校、東洋女子短期大学、東洋学園大学という変革を遂げてきましたが、伝統的に「非常によく勉強する学校」だと言えます。先日、旧制東洋高等学校の卒業生の方々と話す機会があったのですが、医師や歯科医師、教員として活躍されているみなさんが口々に「僕たちが今あるのは、あのときの教育のおかげだ」と誇りを持っておっしゃっていて、非常にレベルの高い教育を受けておられたことを実感しました。私自身は東洋女子短期大学の時代から学生たちを40年以上見てきたのですが、当時の短大の学生たちも本当によく勉強していました。それは、しっかり学習できる環境と、学生たち自身の学びたいという意欲があったからに他なりません。教員と学生の距離が近く、個々のニーズに応える教育を行い、学生たちも勤勉。まさしく「自強不息^{じきょうやすまず}」という建学の精神を実践してきた学校だと思います。

今は時代が変わり、日本の教育や社会全体の様相も変化してきており、大学の在り方や教授法を改めて考える時期だと思っています。本学は、学生たちが「主体的な精神」と「受容の精神」を持ち、本学という環境の中で自分がどう勉強していくのか、どのように時間を過ごしていくのか、という目標を自ら定めて実践していくようなコミュニティでありたいと考えています。

そのために学校側がすべきことは、環境や仕組みづくりです。特に初年次教育は重要で、学生たちが自分の力で自らの可能性に気づき、目

標を持てるような教育が不可欠だと思っています。目標が見つければ、クラブ活動や遊びさえも学びの機会になり、過ごした時間が実になるからです。そして、その初年次教育から専門教育、キャリア教育まで、一つの方針のもとに筋の通った教育をしていくべきだと考えています。現代社会は新入社員を育てる力が弱いので、社会人として生きていく強さや、ある程度のスキルも教授していかなければ、学生たちがいざ社会に出たときに戸惑うでしょう。立派に社会へ巣立たせるためにも、時代に合った教育を行う必要性を感じています。

校友会のさらなる発展を目指して

長年、東洋学園に携わってきた者の一人として、同窓生のつながりを深める組織の確立も在任中に行いたいと思っています。変革を遂げてきた東洋学園には4つの同窓会（旧制東洋女子歯科医学専門学校の「東洋紫苑会」、旧制東洋高等学校の「ならしの会」、東洋女子短期大学同窓会、東洋学園大学同窓会）がありますが、これまでほとんどつながりがなく、母校が東洋学園大学として現在に受け継がれていることをご存じない方も多くいらっしゃいます。

そこで、東洋女子短期大学の閉鎖を機に史料室や『東洋学園八十年の歩み』（80年史）を作り、歴史をきちんと残していこうと考えました。この活動をきっかけに各同窓会の方々が集まり、つながりが生まれ、2010年と2012年には同窓生が本郷キャンパスに集って交流を深める「ホームカミングデー」も実現しました。

学校とは、在学生、卒業生、教職員という三

者の関係性が良好であってこそ継続していくものだと思います。ですから、今後は在学生も積極的に参加できるような「ホームカミングデー」を開催し、東洋学園というコミュニティを作り上げていきたいと考えています。

近いうちに3回目の「ホームカミングデー」を実施予定ですので、校友のみならずにはお気軽にご参加いただき、発展を続ける東洋学園大学の現在の姿をご覧になっていただければと思います。そして、校友同士や在学生とも交流を深めていただけたらうれしく思います。また、個々にクラス会や学年会を開催される際も、学校にご連絡いただき、母校に集ってみてはいかがでしょうか。

その他、大学院や公開教養講座なども設けておりますので、「学び直しの場」としても母校をご活用ください。学校の様子がわかるホームページもございますので、ご覧いただければ幸いです。



前学長
一ノ渡尚道

2003年4月から10年にわたり学長を務められた一ノ渡先生は、2014年3月に任期満了でご退任なさいました。なお、2014年4月からは学校法人東洋学園の学事顧問に就任し、引き続き東洋学園大学のためにご尽力くださっています。

就学キャンパス再編

学部別に就学キャンパスを再編 各特色に合わせて設備も充実

2014年度より就学キャンパスを再編し、東京・本郷にグローバル・コミュニケーション学部と現代経営学部を、千葉・流山に人間科学部を配置しました。それぞれの学部の特色に合わせて、各キャンパスの設備も充実を図りました。

最新情報やケーススタディが満載 文化・経済の中心地、東京・本郷

東京ドームの間近に建ち、5路線3駅にアクセス可能な東京・本郷キャンパス。グローバルな感性を磨いたり、現代の生きたビジネスを学ぶのに最適な立地です。今年度は各学部の3、4年生に加え、グローバル・コミュニケーション学部と現代経営学部の1年生がこのキャンパスで学んでいます。また、学部入学から5年後に修士の学位を取得できる「学部・修士5年一貫プログラム」を有する現代経営研究科(大学院)も本郷キャンパスに配置されており、より専門性と教養を高めていくことが期待されます。

今回の就学キャンパス再編に合わせ、4月からは下記の施設も移設&リニューアル。グレードアップした施設を活用し、学生たちはより豊かで快適なキャンパスライフを送っています。

【イングリッシュ・ラウンジ/英語教育開発センター(EEDC) / 国際交流センター】

4月からイングリッシュ・ラウンジは5号館の6階に移動し、壁のないオープンスペースに。テーブルや椅子の数も増え、ソファや飲み物の自販機も設置されました。毎日、昼休みにはネイティブ・スピーカーの先生や海外からのインターンが日替わりで訪れるので、一緒にランチを

Hongo



楽しみながら英語でのコミュニケーション能力を磨けます。また、英語の履修相談や留学の相談もこちらで受けることができます。

【教養教育センター】

4号館の2階、今までイングリッシュ・ラウンジがあった部屋は教養教育センターの単独スペースとなり、4月から職員が常駐。ステップアップ講座や教養基礎演習についての相談や問合せを受け付けています。4号館には、このほか教務部と学生部のカウンターもあります。

伸び伸び過ごせる千葉・流山 豊かな自然の中で“心”と向き合う

秋葉原から電車で約20分、南流山駅からスクールバスで約5分とアクセス良好でありながら、豊かな自然に恵まれた千葉・流山キャンパス。緑のグラウンドと赤レンガの校舎のコントラストが美しく、ドラマやCMのロケ地としてもたびたび使われています。

今年度は各学部の2年生と、人間科学部の1年生がこのキャンパスで学んでいます。心理学を軸に、カウンセリングやスポーツ科学などを学ぶ人間科学部の学生たちにとって、伸び伸びとした環境と充実した設備を備えた流山キャンパスは理想的な学びの場といえるでしょう。さらに、地域に根差した大学として、生涯学習プログラムや公開講座なども開講されています。

また、流山キャンパスの特徴の一つとして挙げられるのが、活発なクラブ活動。特にテニス部や野球部は近年目覚ましい活躍を見せています。

そんな流山キャンパスでは、今年度より2つの施設を移設&リニューアル。すべての学生の英語力の向上に加え、活躍するクラブ活動の発



より広く、開放的に進化したイングリッシュ・ラウンジ。先生やインターンとランチを食べながら生きた英語を学ぶことができます。

2011年のグラウンド新設に続き、今年度はトレーニングルームを拡大。多様な器具を備えており、本格的なトレーニングを行えます。



Nagareyama

展を一層バックアップする体制が整いました。

【イングリッシュ・ラウンジ/英語教育開発センター(EEDC)】

イングリッシュ・ラウンジと英語教育開発センター(EEDC)が、9号館の2階に移動しました。毎週火、木、金のお昼休みにラウンジタイムを実施しており、ネイティブ・スピーカーの先生やインターンとのおしゃべりを気軽に楽しめます。

【トレーニングルーム】

5号館1階が、ワンフロア丸ごとトレーニングルームになりました。広いスペースにさまざまな機材を完備しており、毎週月、水、木はトレーナーが在室。器具の正しい使い方をレクチャーしてもらいながら、安全に利用できます。体育会系の部活動に所属している学生はもちろん、東洋学園大学の学生であれば誰でも利用可能です。

History 【本郷・流山キャンパス】

女性の社会的・経済的自立を実現すべく、1926年、東京・本郷に誕生した旧制東洋女子歯科医学専門学校。歯科教育史上、女子では初の文部大臣指定校としての創設でした。戦後は文系に転換し、女子短期大学、共学四年制大学へと変革を遂げ、校舎も新しくなりましたが、ロケーションは不動のまま。今も同じ場所で学生たちの成長を見守り続けています。



沓岐坂通りと戦前の校舎

一方の千葉・流山キャンパスは1967年に開設、2006年まで多くの短大生がこの地に通いました。1992年には東洋学園大学人文学部が開学。四年制大学の歴史は、ここ流山キャンパスから始まったのです。

2006年度以降は1・2年生が流山キャンパス、3・4年生が本郷キャンパスという配置で学んできましたが、学部の特色に合わせてより効果的に学べるよう、本年度から以下のように就学キャンパスを再編しました。

東京・本郷キャンパス

グローバル・コミュニケーション学部
▶グローバル・コミュニケーション学科
▶英語コミュニケーション学科

現代経営学部
▶現代経営学科

大学院 現代経営研究科
▶現代経営専攻修士課程

千葉・流山キャンパス

人間科学部
▶人間科学科

国際的活動

「英語の東洋」の伝統を 受け継ぐ国際的なプログラム

“国際人を育てる大学”を自負する本学。2014年度からスタートした「国際キャリアプログラム (ICP)」をはじめ、グローバルな視野や知識を磨けるオリジナルプログラムを幅広く用意しています。



ICP



実践英語や国際教養が学べる 国際キャリアプログラム (ICP)

2014年度からスタートした本学の国際キャリアプログラム (以下、ICP)。4年間にわたる国際教養教育で「人間力」の基礎を作ると同時に、徹底した英語教育と1年間の海外学部留学で「コミュニケーション能力」にも磨きをかけ、

入学時に比べてリスニング力がつくなど、成長している実感があります。将来は国際政治や外交の現場で活躍できる人になりたいです。



森山紗稀さん (1年)

グローバルな世界で活躍できる人材を育てることを目標としています。

ICPでは、留学を可能にする高い英語力を限られた時間で習得し、帰国後も継続して英語での授業を受けられるように「CLIL」メソッドを導入した授業を行っています。「CLIL」とはContent & Language Integrated Learning (内容言語統合学習)の略語で、教科科目を英語で指導する授業法のこと。近年、ヨーロッパを中心に広く普及しています。本学のICPでは1年次の基本教育科目から3、4年次の専門科目まで、ほぼすべての科目でこのメソッドを用い、英語で講義を実施。教員が学生のスキルに合わせ、授業で使用する英語を段階的に調整することで、高い英語力と科目内容を同時に習得できるようになっています。

10～15名程度の少人数教育、1人の教員が4年間通して学生を見守るチューター制(クラス

クラスの仲が良くて楽しいです。授業や宿題、プレゼンなどすべてが英語で大変ですが、通訳になる夢を目指してがんばっています!



佐藤寛輝さん (1年)

担任)を採用することでサポート体制を万全にし、学生一人ひとりを徹底的にバックアップしているのも本学のICPの特長。また、英語教育と教養教育を柱としたリベラルアーツ教育に力を入れてきた本学らしく、学生各自が希望の専門分野を学べるように「学部横断プログラム」という形をとっているのも特筆すべき点です。特別な学部・学科は設置せず、プログラムの履修モデルに合わせて現行の学部・学科の履修要件を弾力的に適応させることで、各自が学びたい専門分野を選択できるようになっています。

ICP導入初年度となる今年は、10名の1年生が入学。来年夏からの学部留学に向け、スキルアップを目指して日々奮闘しています。

SHSU

米・州立大学の学生を受け入れ 学内での国際交流を実現

7月4日～24日、東京・本郷キャンパスにおいて、アメリカのサム・ヒューストン州立大学 (SHSU) によるサマースクール“SHSU in TOGAKU Japan Study Abroad 2014”が行われました。

期間中は東京・本郷キャンパスでSHSUのクラスを開講して授業を行ったほか、本学の教員

による特別講義も実施。また、千葉・流山キャンパスでの茶道体験、東京証券取引所の見学、秋葉原の歴史・文化体験、東京ドームでの野球観戦など、現代の日本について見聞を深めるさまざまなアクティビティが行われました。さらに、本学が栃木県に所有する古民家「栃木寮」に宿泊し、日光も観光しました。

本学の学生も歓送迎会やアクティビティなどに参加し、SHSUの学生と積極的に交流。国際キャリアプログラム (ICP) や英語特別選抜クラス (ALPS) に所属する学生をはじめ、多くの学生が異文化交流を楽しむ姿が見られ、国際

的なコミュニケーション力や教養を身につける貴重なチャンスを提供できたと考えています。



異文化体験のため流山キャンパスを訪れたSHSUの学生たち。ゆかたを着て、茶道同好会の4年生が点てた茶を味わいました。

国際交流

ボランティアや環境保全など 目的意識を持って臨む海外体験

本学では、留学やホームステイのみならず、海外でのボランティア活動やインターンシップなど、体験を通じて世界を間近に感じられるプログラムを用意しています。

たとえば、8日間のベトナム演習に参加した学生たちは、ベトナム・フエにある「子どもの家」でボランティア活動を実施。山岳地帯に暮らす少数民族を訪ねたり、ベトナム戦争について学んだりもしました。また、13日間のドイツ演習

に参加した学生たちは、風力発電施設などを見学し、地球の環境保全についての知識を習得しました。これらのプログラムは学部を問わず参加でき、研修を修了すると単位として認定されます。このほか、国際文化への理解を深める機会と



ボランティア活動を行うためベトナム・フエの「子どもの家」を訪れ、現地の子どもたちと交流した本学学生たち。

して、毎年「鑑真杯 中国語スピーチコンテスト」を開催。今年は上位入賞者3名に「中国及び南京大学研修旅行」が贈られ、春休みに現地を訪れた入賞者たちは中国の歴史や文化に触れつつ、地元の学生たちと交流を深めました。



環境先進国として知られるドイツ。演習に参加した学生たちは、風力発電所や環境に優しいスタジアム、再生可能エネルギー会社などを訪問しました。

3学部4学科それぞれが 力を入れる最新の取り組み

フィールドワークやケーススタディといった体験型学習を大切にしている本学。各学部・学科の学生たちは、日々どんなことを学んでいるのでしょうか。最新カリキュラムや課外活動をご紹介します。



グローバル・コミュニケーション学科の「エコツーリズム論(集中) 実地研修」では、ラオスのエコツアーに参加。象との触れ合いも。

グローバル・コミュニケーション学部

フィールドワークを重視する グローバル・コミュニケーション学科

真の国際教養人の育成を目指すグローバル・コミュニケーション学科では、国際社会に関する生きた知識や情報を習得できるよう、国内外



岩手県・大槌町でのイベント「大槌大学」では、地元の方々と一緒にさまざまな活動を行いました。

でのフィールドワークを積極的に行っています。

たとえば、エコツーリズムが盛んなラオスをはじめアジアの国々で学ぶ毎年恒例の「エコツーリズム論(集中) 実地研修」。現地のエコツアーに参加して伝統文化や大自然と触れ合いながら、エコツーリズムについて学びます。

その他、世界遺産・白神山地で環境問題の現状やNPOの活動について学ぶフィールドワーク、東日本大震災の被災地を訪れ、地元の人々と触れ合いながら支援のあり方を考える岩手県・大槌町での「大槌大学」なども実施しています。

“話せる英語”を目指す 英語コミュニケーション学科

英語力を鍛える独自のプログラムを用意し、グローバルな人材の育成に尽力する英語コミュ

ニケーション学科。今年度の2年次からは、“話せる英語”の習得を目的に新科目「Progressive English」をスタート。英語の基本文型を徹底的に納得・記憶することでオートマタイゼーション(自動化)を行い、的確な英文が自然に口について出るようにするというメソッドです。

週2回の授業では、NHKの英会話番組等にも出演する本学の大西泰斗教授が、自身の著書「一億人の英文法」などをベースに制作したオリジナルテキストを使用。英語力の向上をバックアップしていきます。



“話せる英語”を習得するには、英語を口に出すことが重要。積極的に授業に取り組む英語コミュニケーション学科の学生たち。

現代経営学部

ケーススタディ=実践的な授業 を大切にする現代経営学科

現代社会で起きている現象や、実在する企業の活動を具体例(ケース)として取り上げ、経営や経済について学ぶ「ケーススタディ」を積極的に行う現代経営学科。アメリカのビジネススクールでは一般的ですが、日本の学部レベルの教育では先進的な学びのスタイルであるといえます。

具体的には、本郷キャンパスの間近にある東京ドームシティを教材に集客のヒントを探した

り、学生のアイデアを企業にプレゼンして実際に商品化を目指すなど、さまざまな実践型プロジェクトを展開しています。

また、今年度から新たに「イベントプロデュース」の科目もスタート。4月からの授業の集大成として、7月には学生たちのイベント企画プレゼンテーションが実施されました。

今回のプレゼンテーションの課題は、“東京・本郷キャンパスで行う東洋学園大学の学園祭を企画する”というもの。フラッシュモブやギネスへの挑戦、地元の商店街や商業施設とのコラボレーション、東洋学園大学の特長である「英語」を活かした国際色豊かな学園祭など、各チーム



新商品開発ゼミでは、実際に新商品の企画、試作、企業へのプレゼンなどを行い、製品開発のプロセスを学びます。

が工夫を凝らした企画を提案しました。イベントプロデュースの経験豊富な先生方を審査員に招き、具体的な指摘やアドバイスをいただいたことも、学生たちにとって良い経験になったはずです。

人間科学部

リアリティある授業が豊富 地域貢献にも積極的な人間科学科



“心”を中心に、さまざまな角度から人間を丸ごと学ぶ人間科学科。将来、幅広い分野で役立つ実践的な授業が学生たちに人気です。

今年度からは、現代社会に不可欠な「福祉」の分野の科目も強化。小中学校の自閉症支援学級を長らく担当するなど、福祉教育の第一人者として知られる高田隆教授を迎え、リアリティある授業を展開しています。

また、比較認知心理学を専門とする中村哲之専任講師も新たに加わり、心理学実験や認知心理学、記憶心理学などの授業も行われています。

「こどものうち八栄寮」のこどもの日フェスティバルに参加し、ボランティアを行った人間科学科の学生たち。

進路について具体的に考える機会を持てるようにと、6月には本学の卒業生2名を臨時講師として招きました。大学生活の過ごし方や就職までの過程、仕事のやりがいなど、それぞれの生きた経験談をお話いただき、学生たちも真剣に耳を傾けていました。

人間科学科では、“心”を磨く学びの一環として、授業だけでなく地域貢献のボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。たとえば、本富士警察署の署員とともに本郷キャンパス周辺をパトロールしてゴミのポイ捨てや放置自転車、落書きなどをチェックしたり、都内の児童養護施設「こどものうち八栄寮」のイベントに参加し、バルーンアート作りや駐車場係などのボランティアを行ったりもしています。

クラブ・サークル活動も盛んです！

硬式野球部

創部から4年目を迎え、ようやく全学年が揃った硬式野球部。東京新大学野球連盟に所属し、春季リーグ戦を3部で戦った結果、6試合のコールド勝ちを含む10戦全勝を成し遂げました。さらに、昇格を賭けた入替戦でも2連勝し、今秋からは2部リーグで戦っています。

秋季リーグ戦は9月6日からスタートし、全10戦が行われました。強豪揃いの2部リーグは混戦が続きましたが、1戦必勝をモットーに着実に勝利を積み重ね、終わってみれば7勝3敗と大健闘。リーグ3位が確定しました。来季は2部リーグ優勝・1部昇格を目指し、さらなる精進を続けていきます。



テニス部



昨年、関東大学テニスリーグで2部昇格を果たし、さらに全勝優勝を飾った女子テニス部。今季は各校の実力が拮抗する中で苦戦しましたが、3部との入替戦には快勝し、2部残留が決定しました。また、8月の全日本学生テニス選手権大会（インカレ）では本戦にシングルス1名、ダブルス1組が出場。本戦への単複同時出場という本学初の快挙を成し遂げました。

男子テニス部は9月の関東大学テニスリーグを終え、3部キープが決定。ハイレベルな男子3部リーグで、昨年よりも成長した姿を見せてくれました。来季は3部リーグ優勝、2部昇格を目指し、チーム全体のレベルアップを図っていきます。

茶道同好会

今年8月、東洋学園大学茶道同好会の4年生が、後輩へ受け継ぐための抹茶椀を作成しました。陶土の一部に本郷キャンパスと流山キャンパスの土を使用し、焼成は故池田満寿夫氏（芸術家）が山梨県に築窯した八方窯にて実施。学生は7日間行われる窯焚きの中盤に参加し、焼成のみならず薪運びなどを積極的に行いました。また、窯場では慶星大学（韓国）の学生との交流もあり、その様子はNHKでも放送されました。

焼き上がった作品は、それぞれ個性的で素晴らしい仕上がりでした。茶道同好会では、今回のような活動を通じて、世代や大学の枠を超えた交流を積極的に行っていきたいと考えています。



社会で輝く卒業生



旧制東洋女子歯科医学専門学校

秋山 幸さん

母上が明華に入学して以来、本学とのご縁は母娘で計96年になります。母上は卒業後、医局に勤務されたので教職員にとっても大先輩です。

幸さんは卒業後、勤務医を経て医院を継ぎ、親子二代の京橋歯科医師会会員です。高度成長期は深夜に駆け込む銀座の酔客などの治療に多忙な日々を送りました。91歳になった今年、社交ダンスを始め、週2回レッスンに通い、以前より足腰が軽やかになったとのこと。ますますお元気で。

秋山幸（あきやま・ゆき）

1944年旧制東洋女子歯科医専卒業。東京・京橋の秋山歯科医院第二代院長。秋山家は静岡県沼津の旧家で、母上の秋山みよは旧東京大学卒の東京水上警察医・秋山國次郎の次女。東洋女子歯科医専の前身、明華女子歯科医学学校1回生として1919年に卒業。



東洋女子短期大学

鈴木 李佳さん

小学校時に通っていた英会話教室の先生に影響を受け、英語教員を目指した鈴木さん。高校時代は文法や英検対策に苦戦したそうですが、短大入学後は多くの先生方のサポートもあり、英語学習のみならず、「学ぶ楽しさ」に目覚めたといいます。

今では苦労した分、「生徒が何に悩んでいるのかが分かる」とのこと。英会話教師と保育士の仕事を通じて子どもたちの成長を身近に感じながら、常に学ぶ姿勢を忘れないよう日々努力しているそうです。

鈴木李佳（すずき・りか）

2005年東洋女子短期大学英語コミュニケーション学科卒業。卒業後、ワーキングホリデーで豪州に渡り、児童英語資格を取得。帰国後、児童英会話講師として勤務した後、子供の発達成長をより理解したいと保育士資格を取得。現在はみやその保育園で英語レッスンを担当。



東洋学園大学

高久 孝幸さん

高校時代、ある外国人と話す機会があり、それが人生の転機になったという高久さん。「英語が話せたら、もっと世界が広がる」と痛感し、大学では英語漬けの日々を送り、日本語教師の仕事に出会いました。そして、「目標・目的を持って前進することが大切」をポリシーに、卒業後は2年間渡英。日本語教師養成課程と語学学校に通いました。

今では日本語教師としてタイの日本語学校に勤務。大学で教えることを目標に努力を続けています。

高久孝幸（たかく・たかゆき）

2007年人文学部英米言語学科卒業。大学時代から英語に関係する仕事を志望。卒業後は英語教育センターに勤務しつつ留学準備をし、2007年9月からイギリスのIILE、LTC College Londonで学ぶ。2013年からはタイで日本語教師として活躍している。



東洋学園大学

鶴岡 友樹さん

6歳の頃、家族旅行で訪れたアメリカで英語に興味を持ち、のちに欧米文化（洋画や洋楽）にも傾倒。英語教員の教職課程があり、英米文学も学べることが決め手となり、本学に進学したという鶴岡さん。学生時代は教職や英語関連の授業を可能な限り履修し、3年次には米国にホームステイしました。

現在は、江戸川区立小松川第二中学校の英語科教諭として勤務。英語が好きになってもらえるよう、文化背景を説明するなど授業を工夫しているそうです。

鶴岡友樹（つるおか・ゆうき）

2009年、東洋学園大学人文学部国際コミュニケーション学科卒業。卒業後、公立中学校の講師、産休育休代替教諭を経て、現在は正規職員として江戸川区立小松川第二中学校で英語の教鞭をとっている。

大学院／入試関連のお知らせ

最前線の経営学を大学院で学びませんか？

東洋学園大学大学院 現代経営研究科 現代経営専攻修士課程



【本研究科の特色】

本郷で学ぶ

キャンパスは5路線が交差する好アクセスの文教地区・本郷。
平日の午後6時以降、土曜日など働く学生・社会人を応援するフレキシブルな開講。

生きた経営を学ぶ

東京の中心にキャンパスがあるという立地を生かし、ケーススタディに重きを置いた授業と、現役で活躍している最前線の経営者に学ぶ実践力。

最短5年で修士を取得

学部と大学院が連携し、学部入学から4年で学士、5年で修士の学位取得が可能となる「学部・修士5年一貫プログラム」で向学心のある学生を応援。

現代経営研究科について

東洋学園大学大学院 現代経営研究科
研究科長 鎌田信男

本研究科の特色は、第一にビジネス街にアクセスが容易な本郷の地にキャンパスが位置していることです。第二に、仕事を持っている学生も、フレキシブルな時間割により働きながら学べる対応が取られていることです。そして第三に、現役ビジネスマンも教壇に立つなど、生きた現代経営を学べることです。こんな環境で、経営学修士号に挑戦してみませんか。

修了後の主な就職先の例

アディダスジャパン株式会社、みずほ証券株式会社、富士フィルム株式会社、藍澤證券株式会社、その他の民間企業やNPO法人などで活躍しています。

大学院体験講座・大学院進学相談会

大学院は社会に開かれた高等教育の場を目指し、経営学に関連する身近なテーマを、本学教員がわかりやすく解説する「大学院体験講座」をシリーズで開催しています。全5回のうち既に3回終了していますが、東洋女子短期大学、東洋学園大学卒業生のご参加をお待ちしています。

聴講無料、予約不要、進学相談もお受けします。

12月6日(土)	現代経営研究科 教授 中井 和敏 演題「IFRS 財務諸表の見方」
2015年2月7日(土)	現代経営研究科 専任講師 菅野 洋介 演題「デザイン思考と企業経営」

現代経営研究会

企業のみならずと本学教員との相互研鑽、交流を通じ、現代の経営諸問題について研究し、生きた経営ノウハウを蓄積したいと考え、2008年に大学院創設と同時に「現代経営研究会」を発足いたしました。本研究会は、無料でどなたでもご参加いただけます。詳細はHPをご覧ください。http://www.tyg-business.jp/
※講演は18:00～19:30で聴講無料。講演会の後、懇親会(年間会員無料、当日参加お一人様あたり500円)を予定しています。

11月26日(水)	株式会社ブリヂストン 代表取締役 CEO兼取締役会長 津谷 正明氏 演題「『真のグローバル企業』に向けたブリヂストンの経営改革」
12月3日(水)	新日鐵住金株式会社 代表取締役副社長 太田 克彦氏 演題「再び、グローバルNo.1の製鉄会社を目指して」
2015年1月21日(水)	株式会社東芝 代表執行役副社長 深串 方彦氏 演題「ノートブックPCの歴史」

お問い合わせ先

大学院体験講座、大学院進学相談会、
現代経営研究会に関するお問い合わせ

東洋学園大学総務部 TEL: 03-3811-1696

東洋学園大学入学案内

■入学金免除制度

本学在学学生および本学園卒業生のご親族(二親等以内)が本学に入学される場合、入学金(300,000円)を免除する制度を設けております。

■編入学(3年次)／大学院

校友のみならずとって「学び舎」であり続けるために、学部3年次編入や大学院の入試制度も設けております。



編入学(3年次)

各学部の専門分野への強い関心と学ぶ意欲を持つ方の入学を求めています。

グローバル・コミュニケーション学部

▶グローバル・コミュニケーション学科 ▶英語コミュニケーション学科

現代経営学部

人間科学部

▶現代経営学科

▶人間科学学科

(2015年度編入学生は全学部、本郷キャンパスで学びます)

大学院

現代経営研究科(本郷キャンパス)

経営学における専門性と高度な知識を持つ職業人を育成するため2008年に大学院現代経営研究科を設立しました。

【東洋女子短期大学の卒業生に出席資格が認められる場合がございます。

詳しくは入試室までお問い合わせください。】

お問い合わせ先

入学金免除制度、編入学、大学院入学について 入試室 0120-104-108 (フリーダイヤル) E-mail: nyushi@of.tyg.jp

東洋学園大学教育振興資金協力のお願い

東洋学園（旧制東洋女子歯科医学専門学校、旧制東洋高等学校、東洋女子短期大学、東洋学園大学）は、創立より88年の歴史を持ち、本学の目標である①時代の変化に応える大学、②国際人を育てる大学、③面倒見のよい大学、を目指し、その実現の為に教育環境の整備・充実に日々努めております。

現代社会は大きな変革期にあり、少子高齢化、情報化、国際化が急速に進む中で、大学も思い切った改革が必要とされています。本学では、今まで学年別に分かれていたキャンパス

を再編して、グローバル・コミュニケーション学部と現代経営学部は本郷で、人間科学部は流山で、それぞれ4年間学ぶ体制に改め、それぞれのキャンパスの特性を活かした教育に取り組んでいます。また、今年度より東洋学園の伝統ある英語教育を土台に、先進的な教育方法を取り入れた「国際キャリアプログラム(ICP)」を立ち上げてグローバル人材育成の社会的ニーズに応えることとしております。

本学はこのようにいろいろな改革に積極的に取り組んでいますが、今日の大学を取り巻く環

境は大変厳しいものがあり、国からの助成も抑制される中で、更に充実した教育環境を学生の皆さんに提供することは容易ではありません。

本学は規模は大きくありませんが、教員と学生の皆さんとの距離が近く、きめの細かい教育を行っています。そして学生の皆さんが本学で学んだことに満足し、それを誇りにして社会で活躍してくれることを目指しています。本学の教育方針にご賛同いただきまして、本学の向上のため、募金活動への一層のご協力を切にお願い申し上げます。

東洋学園 理事長 江澤 雄一

募金目的

1. 本郷・流山キャンパス教育施設設備の充実
2. 奨学金制度の充実
3. 教育・学術等の研究奨励、振興
4. 学生の課外活動の奨励
5. その他

※寄付を頂戴するみなさまのご意思を尊重いたしたく、寄付申込書で募金の目的を選択していただくことができます。

募金目標額

2千万円

募集期間

平成26年7月～平成27年3月

寄付金種別

1口 1万円
金額の多寡に関わらずありがたくお受けします。ご寄付いただいた方は本誌にお名前を掲載させていただきます。匿名をご希望の方は、寄付申込書にその旨ご記入ください。

募集対象

卒業生及び本学関係者

払い込み方法

「金融機関での振込」と「クレジットカード振込」の2種類がご利用いただけます。「金融機関での振込」をご利用の方は、同封の所定振込用紙②（郵便局・銀行併用）でお手続きください。「ネットバンキング」もしくは「クレジットカード振込」をご利用の方は大変お手数ですが、同封の寄付申込書①をご返送ください。金融機関からの入金通知を受けた後、大学より領収書をご送付申し上げます。

お問い合わせ先

学校法人 東洋学園 法人本部
〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3 TEL 03-3811-1731

東洋学園大学教育振興資金寄付者ご芳名（敬称略・50音順）

（平成24年4月～平成25年3月までに寄付いただいた方） 相川弘子、荒井利文、荒木淳一郎、石川 豊、石原孝真、和泉幸夫、板子憲明、大野雅隆、大宮健一、岡里史夫、風穴英樹、河原英幸、神田恵美子、北原正俊、工藤佳以子、毛原孝一、小石真千、小松幹博、齊藤三郎、佐伯和晃、酒井秀浩、佐藤 泉、茂田ゆかり、島田昌信、勝瑞 忠、鈴木隆夫、鈴木恒夫、高野浩通、高橋宏太郎、為成紀之、千田佳光、東洋学園大学同窓会、中原 眞、長谷川道治、林 一枝、廣川 孝、藤土雄三郎、藤巻由美子、布施 実、本郷壱岐坂太鼓代表 藤沢八洲彦、森屋唯邦、山田武彦、山田俊明、鐘田幸雄、渡邊久美子、渡辺 博、綿引正治、氏名掲載を許諾された方以外のご寄付者67名
（平成25年4月～平成26年3月までに寄付いただいた方） 麻生正徳、安部 豊、安阪 昭、和泉幸夫、遠藤裕子、小野田秀哉、川野 清、宜保清美、河野修一、坂本ひとみ、佐藤 泉、篠 稔、菅田絹子、高木健次、千田佳光、野村和弘、橋本卓典、浜村喜代志、福田隆弘、藤土雄三郎、布施 実、本郷壱岐坂太鼓代表 藤沢八洲彦、松島 昭、八藤後 猛、山田武彦、吉里賢二、米畑博文、氏名掲載を許諾された方以外のご寄付者106名

東洋学園の歴史

第2回 流山キャンパス

東洋学園史料室

本年度入学生から人間科学部の単独利用となる、流山キャンパスのこれまでを振り返ってみましょう。

戦後、旧制専門学校の多くが新制大学に昇格しました。戦災を蒙った東洋女子歯科医専は仮住まいしていた津田沼国有地の入手を図って果たせず、大学設置基準を満たす校地の確保は懸案でした。

1950年に新発足した東洋女子短期大学は



1967年2月の地鎮祭当日は雪。現在の9号館の位置から鱈ヶ崎駅方向。T字路の右角は今、正門前のパン屋さんがある辺り。



旧講義棟と体育館。現在の9号館別館から8号館の位置。

'60年代以降、フェニックス・モザイクの新校舎を建設してなお旺盛な進学需要に応えきれず、第二キャンパスを設ける機運が生じました。いくつかの候補地の中から千葉県東葛飾郡流山



入学式に花を添える桜並木がまだ若い。今は左に貯水池を挟み1号館、右は8号館です。

町が選ばれ、1967（昭和42）年2月に起工、9月7日に講義棟1、体育館1、グラウンドが竣工しました。同年1月1日から流山は市制を施行しており、市と流山キャンパスは2017年に50周年を迎えます。

当初は大学設置という大きな目標より、必修だった体育実技の施設確保が目的でした。1年次の週1回、各曜日3クラスが体育実技のため通い、この日は流山で語学も履修しました。

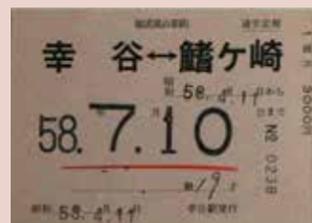
1979年にレンガタイルの1・2号館を建設し、増え続ける英語英文科の一部、約150名（2学年計300名）を流山在籍として、本郷在籍生



秋の本郷のフェニックス祭（学園祭）と並ぶ初夏流山のスポーツ祭。2学科合同の全学行事でした。

は週1回の流山通いが続きました。

1982年に欧米文化学科を新設し、流山は同学科の専用キャンパスとなります。



短大同窓会報でお願いして提供いただいた手書きの通学定期券（欧米文化学科1回生M.T様）。流鉄が主要な通学の足でした。



1981年の坂川氾濫。右にテニスコート、その奥が校舎。流路や排水機場の整備が進み、今はこんなこともなくなりました。（Y事務局長提供）

1992年に5・6号館と現在の第1体育館が竣工し、東洋学園大学が開学しました。キャンパスの主は欧米文化学科（後に英語コミュニケーション学科）と大学人文学部の共存を経て、人文・現代経営学部の1・2年次、そして人間科学部へと変遷しました。この間もキャンパスの拡張と整備は続き、旧講義棟、体育館が姿を消し、2011年に第3グラウンドとして野球場が竣工したのは記憶に新しいところです。

インフォメーション

卒業生に開かれた学び

東洋学園大学では「開かれた大学」を目指し、研究・教育の蓄積をみなさまと広く共有したいと考えています。また、科目等履修生制度も設けています。

公開教養講座（流山）

学内外の講師を招き、現代社会に焦点をあてたテーマで講演していただきます。
（5月～12月開催、全7回）<http://www.tyg-koukai.jp/>

12月13日（土） 戦争報道と原発報道
—新聞はどこで間違えたのか—
朝日新聞論説委員 上丸 洋一

13:00～15:00、流山キャンパスにて
各回1,000円、予約不要。直接会場へお越しください。

お問い合わせ先 東洋学園大学 公開教養講座受付係
【TEL】04-7150-3001（代）

※流山キャンパスでは、英語や中国語などの語学講座をはじめ、テニス、心理学など本学の特徴を活かした講座、絵手紙や色を使ったイメージアップセミナーなど年間100講座を超えるエクステンションプログラムを開講しています。

来年度の講座詳細については、決定次第HPにてお知らせいたします。
<http://www.tyg-ex.jp/>

※その他、本郷キャンパスでは「現代経営研究会」や「大学院体験講座」を開催しています。詳細については6面をご参照ください。

科目等履修生制度

東洋学園大学では、大学の持つ知的財産を広く社会に還元するために、科目等履修生制度を開講しています。大学院、学部ともに、開講される授業科目について、正規の学生の教育、研究に支障のない範囲において履修が認められ、単位取得が可能です。短期大学ご在学中に、教職課程を履修されながら課程修了に単位不足の方、新たな学問に取り組みたい方など、ぜひ本制度をご活用ください。なお、大学院では大学卒業、学部では高校卒業の資格を要するなど、本制度の詳細は以下にてご確認、お問い合わせください。

お問い合わせ先 教務課
本郷キャンパス：【TEL】03-3811-1785 流山キャンパス：【TEL】04-7150-3068

学内施設利用について

図書館利用のご案内（本郷・流山）

利用登録をすれば卒業生も本学図書館を利用することができます。登録は無料。卒業を証明するもの（学位記またはそのコピー、大学からの郵便物、卒業証明書等）を図書館カウンターまでお持ちください。

【利用できるサービス】

閲覧、文献複写、貸出（図書のみ3冊まで、期間：2週間）

詳しくは図書館ホームページをご覧ください。<http://www.lib.tyg.jp/>

史料室のご案内（本郷）

特集展「学長・文相 愛知揆一 1964年オリンピック東京大会資料」
10月10日～2015年4月10日 解説書（本文40p）無料

【場所】 本郷キャンパス4号館6階

【開館日】 月～金 9:30～16:30

詳しくは東洋学園史料室ホームページをご覧ください。 <http://www.tyg-archives.jp/>

東洋学園大学同窓会からのお知らせ

～異動調査ご協力をお願い～

東洋学園大学同窓会からのお知らせです。すでに本会会員のみなさまのお手元には本年度の会報、異動調査票（対象卒業期のみ）など一式が届いているものと存じます。異動調査につきましては、本会HP（<http://www.tgual.jp/>）からも随時受け付けておりますので、本年度が対象となっていないみなさまにおかれましても、ぜひともご協力をお願いいたします。

いただきました会員情報につきましては、厳重な管理を行った上で、同窓会の主旨に基づき、本会の活動、学園、母校の発展、および在学生の後援のために活用させていただきます。

お問い合わせ先 東洋学園大学同窓会室（毎週木曜日）
【住所】〒270-0161 千葉県流山市鱈ヶ崎1660 【HP】<http://www.tgual.jp/>

東洋女子短期大学同窓会からのお知らせ

～第8回フェニックス会について～

来年秋に本郷キャンパスにて開催の予定です。講演のテーマは「知っていると役立つ年金について」（仮題）、講師は33回生の渡辺詠子さん。社会保険労務士として広くご活躍中です。ご期待ください。詳細につきましては、来春発行の同窓会の会報にてお知らせいたします。

～会員のみなさまへお願い～

*現在、来春発行の会報に掲載する記事を募集しています。「クラス会を開きました」「卒業後こんな活動をしています」など、ぜひみなさまの声をお寄せください。

お問い合わせ先 東洋女子短期大学同窓会室（第1・3水曜日 10:00～15:00）
【住所】〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3 東洋学園大学内
【TEL/FAX】03-3811-5102 【E-Mail】dosokai@ec.tyg.jp
【HP】<http://www.tyg.jp/graduate/>

各種証明書の発行等について

各種証明書の発行（卒業証明書、成績証明書、単位修得証明書など）

東洋女子短期大学	英語英文科	本郷キャンパス 【TEL】03-3811-1696（代）
	欧米文化学科 英語コミュニケーション学科	流山キャンパス 【TEL】04-7150-3001（代）
東洋学園大学	流山キャンパス	【TEL】04-7150-3001（代）
	本郷キャンパス	【TEL】03-3811-1696（代）

個人情報の変更手続き

旧制東洋女子 歯科医学専門学校 旧制東洋高等学校	東洋学園史料室【TEL】03-3811-2840
東洋女子短期大学	東洋女子短期大学 同窓会室（開室日 毎月第1・3水曜日） 【TEL】03-3811-5102
東洋学園大学	東洋学園大学 同窓会室（開室日 毎週木曜日） 【TEL】04-7150-3204
東洋学園大学 大学院	本郷キャンパス 【TEL】03-3811-1696（代）

※詳しくは東洋学園大学公式ホームページ「お問い合わせ」をご参照ください。

校友会事務局より

原田規梭子先生が学長に就任され、就学キャンパスも学部別に再編されました。今後も『東洋学園だより』をみなさまのお手許にお届けし、東洋学園大学の「今」をお伝えすることで、卒業生と母校の絆を深めることができれば幸いです。本誌へのご意見や感想、また校友会事務局へのご要望など、お気軽に右記の連絡先までお寄せください。また、事務局では定期的にメールマガジンを配信しています。ご登録はホームページよりお願いいたします。

【企業で活躍する卒業生の方へ】 就職活動中の学生によるOB・OG訪問を受け入れてくださる方を募集しています。業界や企業への理解、就業観などを伝えてくださる方、就職支援に関わっていただける方は事務局までご連絡ください。

校友会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3
東洋学園大学 本郷キャンパス1号館2階

TEL 03-3811-1072

E-MAIL koyukai-info@tyg.jp

ホームページ <http://tgblog.tyg.jp/koyukai/>